

7月 は「同和問題啓発強調月間」です

市民講座

「わたしの出会った
日本のかたち 日本のごころ」

皆さんは、日々の忙しきで

大切な「ごころ」を

見失っていませんか

「ごころ」について考え

「ごころ」でものを

見ることの大切さについて

一緒に考えましょう



講師 ロバート・ワトソンさん
(Robert D. Watson)

とき

7月1日(日) 10時～

ところ

桂川町住民センター

入場
無料

ロバートさんからのメッセージ



日本の社会は“かたち”にこだわり過ぎて、“こころ”で考えることがなくなっていました。“こころ”で考えるとは、思いやりや、ひとのために何ができるかを考えることです。

人権問題での“かたち”とは、国籍・出生地・性別・障害などです。

また“こころ”とは、誰かの役に立ちたいと思い、尊ぶものです。

日々の忙しきで大切な“こころ”を見失っているのではないのでしょうか。一人ひとりが“こころ”について考え直し、そして“こころ”でものを見ることの大切さについて、少しでも多くの方に気づいていただきたい。それが、わたしの想いです。

プロフィール

○1959年

アメリカ合衆国アイダホ州ボイシ市に生まれる。19才で来日し、東京、神奈川県に2年間滞在。その後アメリカへ帰国し、アイダホ州立ボイシ大学で国際関係、東洋学を専攻。

○1989年

国際交流員として大分県大山町役場に勤務。

○1996年10月

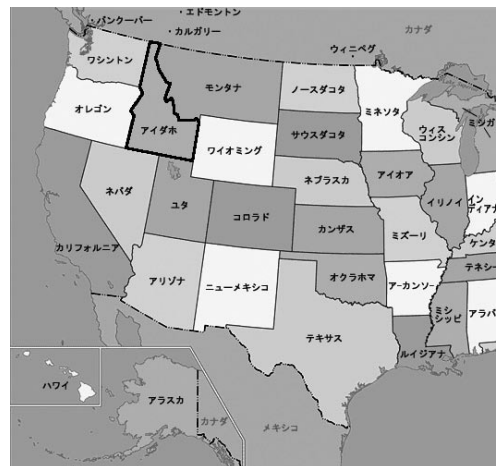
自治大臣功労賞を受賞。

○2000年～2004年

NHK大分ニュースコメンテーターを務める。

○2004年8月

大山町役場を退職し、和都村企画を設立。通訳や翻訳の仕事を。更に、人権、教育、子育て等、講演活動を中心に、全国各地で「和の心」を優先する社会づくりに努めている。



全国各地での講演活動にも力を注ぐロバートさんの講演会に、参加してみませんか。詳しくは、社会教育課人権・同和教育係（☎65・2007）まで、お問合せください。